

1 はじめに

(1) 振興方針策定の趣旨

「千葉県農林水産業振興計画」を基に地域農林業の振興を目的に策定をするものです。

(2) 振興方針の性格

「千葉県総合計画」と「千葉県農林水産業振興計画」を上位計画とします。

(3) 振興方針の構成

基本施策5つと、早急に取り組むべき課題である重点施策4つについて、現状と課題、目指す姿、取組内容、目標を示します。

(4) 振興方針の期間

令和8年度～令和11年度の4か年

(5) 進行管理

毎年度実施状況の評価・点検により、必要に応じて適宜、見直しや修正を行うものとします。

2 現状

(1) 地域の概況

山武地域は太平洋に面した平坦な九十九里平野と、北西部のなだらかな下総台地からなり、過去10年の年間平均で気温16.1℃、降水量1,566mmの温暖な海洋性気候です。

(2) 地域農林業の現状

九十九里平野では、稲作を中心に露地野菜のねぎ、施設野菜のトマト、きゅうり、いちご等、下総台地の畑地帯では、にんじんを中心とした露地野菜を主体に、施設野菜、花きなどが生産されています。また、全域で酪農、肉用牛、養豚、養鶏（採卵鶏）などが経営されています。



(3) 地域農林業を取り巻く環境の変化

近年平均気温が上昇傾向にあります。特に7月や8月の高温が顕著になっています。圏央道は令和8年度に県内区間全線開通、成田空港は令和10年度末に向けて拡張事業が進められています。

(4) 地域農林業の課題

新規就業者の参入や育成、経営体の規模拡大や法人化、農地の効率的な活用、は場の大区画化や農業水利施設の整備、夏の高温対策、生産性向上のためのスマート農林業導入、マーケットニーズの多様化への対応、輸出の取組、観光農園などのPR、災害等による農林業被害の防止や経営リスクの備え。

3 基本方針・基本目標・基本施策

○基本方針 目指す姿の実現に寄与する各種施策を展開し、山武地域の農林業者の所得向上と地域振興を図ります。

○基本目標 山武地域の農業産出額 437億円（令和5年産）→457億円

○基本施策

1 次世代を担う人材の確保・育成	新規就農者の確保と定着促進、企業参入への適切な対応、地域農業を支える経営体の育成、多様な労働力の確保、林業事業体の育成、多様な人材の確保・育成
2 農林業の成長力の強化	技術の導入・普及定着、スマート農林業技術の導入推進、生産力を高める産地体制の強化、生産力を高める基盤整備の推進、担い手への農地の集積・集約化の促進、優良農地の確保と荒廃農地の解消と活用、環境に配慮した多様な森林づくりの推進、病虫害防除対策や林地開発の適正化による健全な森林の保全
3 需要を捉えた販売力の強化	市場動向を捉えた産地体制の強化、輸出にチャレンジする産地等への支援、地域資源を活用した魅力ある商品開発、食育の推進、木育の推進
4 特色を生かした農山村の活性化	地域資源の高付加価値化の推進、農林産物の情報発信、共同活動の推進、鳥獣被害対策実施体制の強化、
5 災害等への危機管理強化	災害に備える経営の取組の推進、農村の防災・減災対策、災害に強い森林づくりの推進、家畜伝染病に対する防疫体制の強化、植物防疫対策の推進、危機管理体制の強化

4 重点施策

目指す姿

水田農業の持続的発展を図るための経営体の強化

- 経営体の規模拡大
- 効率的な営農の展開
- 収量や品質の安定
- ほ場の大区画化、汎用化
- 省力・低コスト、多収生産による安定的な経営

目標

経営面積50ha以上の
稲作経営体数
19経営体 → 24経営体

水田の新規ほ場
整備面積
50ha

主な取組

- 営農組織、担い手農家の支援
- 地域計画ブラッシュアップの支援
- 作業効率の向上と規模拡大を支援
- 高温耐性品種の導入支援
- 省力化技術の導入支援
- 労働力確保の支援
- 農業機械や関連施設の導入支援

- 基盤整備事業による
ほ場の大区画化
- 用排水路の整備

目指す姿

野菜産地の生産力強化と担い手の育成

- 担い手、労働力の確保、農業用ハウス等の担い手への継承
- 産地規模の維持
- 技術の普及による収量や品質の向上
- 生産出荷組織の体制強化による販売力の向上と高い市場評価

目標

ねぎ販売額 21.4億円 → 22.8億円
にんじん販売額 14.2億円 → 14.6億円
トマト販売額 7.1億円 → 7.2億円
きゅうり販売額 6.0億円 → 6.1億円

主な取組

- 技術や知識の習得支援
- 労働力の確保や農閑期の新規品目導入支援
- 高温・少雨対策の設備や技術導入の推進
- 土づくり技術導入の推進
- 総合的な病虫害防除技術導入の推進
- 環境制御装置等の導入による収量の向上
- 農作業の効率化と経営の規模拡大
- 集出荷体制の強化と販売力の向上

目指す姿

地域と調和した畜産経営の実現

- 暑熱対策の定着
- 飼養管理の効率化
- 生産性の向上
- 自給飼料生産や未利用資源の活用
- 経営の安定化
- 地域の様々な分野との繋がり

目標

乳用牛平均産次
2.6産 → 2.8産

主な取組

- 作業を外部化する組織の育成
- 暑熱対策技術の導入や飼養管理の改善支援
- 省力化機械・施設の導入支援
- 自給飼料生産や未利用資源の活用を推進

目指す姿

適切な森林整備の促進

- 適切な整備による災害に強い森林
- 森林の持つ多面的機能が適切に発揮

目標

森林整備面積
103.15ha/年 →
429.62ha/4年

木材生産量
4,490m³/年 →
19,071m³/4年

主な取組

- 山地災害対策を推進
- 海岸県有保安林の整備・再生
- 被害を受けた森林の復旧支援
- 風倒木被害の未然防止につながる
森林整備等を支援
- 森林環境譲与税を活用した市町に
よる森林整備を支援

- 森林経営計画の策定
支援
- 県産木材の利用支援